

川崎市子ども・若者応援基金

令和3年度の実績紹介



ご寄附
ありがとう
ございます

令和3年度は、
多くの個人、企業、団体の応援・後押しにより、
55,000,000円を積み立てることができました。

(基金残高(令和4年12月1日時点) 1億8166万2453円)

※積立額には、川崎市競輪事業及び神奈川県川崎競馬組合競馬事業の収益も含まれます。



応援・後押しを受けた子どもたちの声をぜひ御覧ください。

未来につながる、子ども・若者の応援・後押し

置かれた環境によって
学習機会に差があるのは、
何か違う気がする。



色々とチャレンジして、
成功も失敗も、
体験したらいいと思う。



機会格差の解消

挑戦の後押し

夢や目標を持つ川崎の子ども・若者の応援

令和3年度は「機会格差をなくす取組」と「子ども・若者の挑戦の後押し」の2つの柱で4つの応援を行い、合計41,372,033円を活用しました。



機会格差をなくす取組

1 社会的養護奨学給付金

令和3年度実績 決算額：16,300,000円 事業対象者：28人



里親家庭や児童養護施設等の退所者等を対象に、大学等進学時の奨学金や資格取得に要する経費に対し、給付金を支給しました。

大学等進学奨学金	大学等の学資に充てるための給付金 (国公立大学等：月額3万円、私立大学等：月額5万円)
資格取得給付金	一般教育訓練講座の受講経費に対する給付金 (対象講座の終了に必要な入学料、受講料、教材費)

私は4月から製菓専門学校に入学しました。奨学金を学費に当てることができ、とても助かっています。これからも専門学校で学び、国家資格取得のため頑張っていきたいです。(専門学校1年生)

大学への進学が決まり、一人暮らしも始まりました。大学では、学業と陸上に専念したいと思っています。本当にありがとうございました。(大学1年生)

私は慶應義塾大学に進学し、学費は高いですが、この奨学給付金を活用して無事に通うことができます。広く深い教養を得て、社会に貢献できる様に頑張ります。(大学1年生)

私は現在、看護大学に通っています。奨学金をいただけたおかげで真っ直ぐに夢を追いかけられています。本当にありがとうございます！(大学1年生)

奨学給付金で大学へ行くことが困難でなくなり、助かっています。元々は保育士のみを志していましたが、様々な実習を経て、目の前に数々の進路の選択肢が広がっています。本当にありがとうございます。(大学3年生)

お陰様で安定した学校生活を送ることができ、勉学に集中することができます。私はデザイン学校に通っており、難しい業界ではありますが、努力していこうと思っています。コロナ禍で大変な中、本当にありがとうございます。(専門学校2年生)

※学年はコメント提出時のものです。



機会格差をなくす取組

② 学習支援費

令和3年度実績 決算額：11,128,938円 事業対象者：27人



里親家庭や児童養護施設等の児童に対して、児童の個性に応じた学習支援を行うための費用を支給しました。

地域人材・NPO法人等を活用	団体実施の学習支援を利用する場合や施設等に招いて学習支援を行う場合の経費
教材等を活用	里親や施設で、市販の教材等を活用して学習支援を行う場合の経費
塾及び家庭教師	塾や家庭教師を利用する場合の経費

大学進学を目指し、塾に通わせてもらっています。個別なので先生に質問がしやすく、分かりやすく丁寧に解説してもらっています。テスト前は範囲に合わせた勉強ができています。自分で選ばせてもらい、自分に合った塾に通わせていただき感謝しています。(高校2年生)

僕は小学校6年生の11月から今まで学習塾に通っています。僕は覚えるのが苦手で、あまり勉強が得意ではありません。塾では1:1でやさしく教えてもらえるので、少しずつ勉強ができるようになりました。これからもがんばります。(中学1年生)

漢検を受ける為にテキストを購入させて頂きました。習っていない漢字など含め勉強しやすいものを使い、無事合格する事が出来てうれしかったです。また、高得点を出せた事で自信につながり、次の級にチャレンジしたいと思いました。3級を合格する事が出来たので、次回は準2級にチャレンジし合格出来るよう頑張ります。(中学2年生)

僕は中2の12月から中3の3月まで学習塾に通わせていただきました。おかげさまで県立高校に合格することができました。今はソフトテニス部にも入り、楽しく高校生活を送っています。大学進学もできればしたいと思っています。これからもよろしくお願いします。(高校1年生)

私は毎月やっている「いちぶんのいち(教材)」で予習復習をすることができ、より学習の楽しさを知れました。これからも頑張ろうと思います。ありがとうございました。(小学6年生)

3年生になって勉強がむずかしくなったけど、がくしゅうしえんでおしえてもらえるようになったことがたくさんあります。なので、じゅぎょうで手をあげることもできるようになりました。じゅぎょうでわからないことがあってもやさしくおしえてくれるので、にがてな算数もがんばっています。(小学3年生)

学習支援費を利用して塾に通い、高校3年生の1年間には受験勉強にはげみました。授業以外でもいつでも自習室を使うことができ、分からないことがあればその場にいる先生に質問することができるので、自習室も積極的に使って学習をしていました。丁寧に教えてもらったおかげで志望校にも合格することができました。将来の夢に一步近づけることができましたので、今まで学んだことを生かしながら進学後も頑張りたいです。(高校3年生)

学校の授業が復習でき、分かることも増えて勉強の負担が軽くなりました。部活と勉強の両立は塾が勉強の支えになっています。テストの振り返りが授業で取り入れられて、テスト対策にもなりました。ありがとうございます。(中学1年生)

③ Stanford e-Kawasaki



令和3年度実績 決算額：8,935,200円 事業対象者：20人（市立川崎・橘高校生徒）

スタンフォード大学の国際異文化教育プログラム（SPICE）と連携し、「多様性」と「アントレプレナーシップ（起業家精神）」をテーマに、高校生向けのプログラム「Stanford e-Kawasaki」を開講しました。約半年間、事前課題の提出、ゲストスピーカーによる講演、グループディスカッションを繰り返し、最後は自ら選んだ研究テーマのプレゼンテーションを行いました。なお、プログラムは、全て英語で実施しています。

アメリカでの人種差別の歴史や、シリコンバレーで進む経済格差についてなど、さまざまなことを学びました。この経験を生かして、政治や外交といった分野に携わる仕事に就きたいです。（高校2年生）

今後の目標として、留学し、英語力を伸ばしたいです。また、このプログラムで何事も自分から行動を起こすことが大事だと学んだので、自分の知りたいことや気になることを突き詰められるような行動力を身に付けたいと思います。（高校2年生）

学校の先生や家族を除くと、大人の方と話す機会がほとんどない中で、このプログラムは青年期における人生の指針の形成にもつながり、非常に刺激的な体験ができました。（高校2年生）

心構えはしていましたが、最初に先生からメールが来たときは全て英語でとても驚き、さらに初めての課題を出されたときはもっと驚きました。何度もくじけそうになりましたが、最後までやり切れたことで達成感も大きく、とても自信になりました。（高校1年生）

この貴重な体験を通じて、高校の授業では得られないものを得ることができました。今回の経験を生かして、英語をツールとした仕事に就きたいという思いが一層深まりました。（高校1年生）

講義のたびに生きた情報を得られたこと、自分の考えを膨らませられたことに感謝しています。また、メンバーの意見は参考になるものが多かったため、そこから新しい知識をたくさん得ることができました。（高校2年生）



演台に立っての自己紹介



グループディスカッションの様子



市長からのメッセージ



修了証の授与

このプログラムを通して、世界の様々な分野で活躍している方々のお話を聞くことができ、とても貴重な体験になりました。日本から出たことのない私にとって新鮮なお話ばかりで、特にハイリスクハイリターン主義のアメリカ人とリスクを取らない日本人などをはじめとする日米の違いが興味深く、これからの世界を生き抜いていくための日本のあり方についても考えさせられました。(高校2年生)

起業については全く興味のない分野でしたが、盛りだくさんなメニューのおかげで、とても深く学ぶことができ、もっと知りたいと思うようになり、これが「視野が広がった」という感覚なのかと思いました。英語のスキルも高めながら他の言語もたくさん習得していきたいし、国際社会についてももっと学び、世界中のいろいろな人たちと関わってみたいです。(高校2年生)

最初は英語が上手くしゃべられるようになったらいいなという思いでしたが、このプログラムを通して、もっと世界について知りたい、今の社会を変えたい、というように変容してきました。これは、英語を目標にしていたところから、英語をツールとして何か世界で私にできることはないかと考えるようになった契機であるといえます。そのような考えに至らせてくれた本プロジェクトには感謝をしています。本当にありがとうございました。(高校2年生)

Stanford e-Kawasakiを通して、教育の持つ力や重要性に気づかされました。将来は若者が性別や年齢、経済的な背景などに関わらず、質の高い教育を受けられる世界の実現に努めたいと考えています。その実現は一筋縄ではいかないことも承知していますが、それでも挑戦したいと思えたのは、このプログラムのおかげです。本当にありがとうございました。(高校2年生)

日本でも海外でも将来応用できることを習得できたので、自分が今後海外での仕事を行う際に、この経験を生かしていきたいです。(高校1年生)

毎週、決まった日に英語を使い続けることで、自分の英語を話す力や考える力がメキメキ成長していると感じ、とても楽しく、嬉しかったです。(高校1年生)

今回のプロジェクトでは、英語以外にも将来グローバル社会で生きていく上で、大切なこともたくさん学びました。自分が生まれ育った国ではなく、まったく違う環境で新しいことにチャレンジしていく日本人起業家の方々のお話はとても興味深かったですし、自分から恐れずに行動していくことの大切さを学ぶことができました。(高校2年生)

このプログラムを通じて、私は学校外に学びを広げて、誰もが自分の個性や強みを伸ばして活躍できる社会を実現するため、教育関係の会社を立ち上げるという夢を持ちました。これからの川崎市の子どもたちの未来のためにも、このプログラムを続けていていただきたいです。(高校2年生)

英語を言語学的に理解することも、英語を使えるようになることも、どちらも大切ですが、一般的な学校の授業で得られる英語は前者だと思っています。そのような中、Stanford e-Kawasakiはどちらの能力も身に付けられる貴重な経験となりました。生きた英語を扱うという経験を早いうちにさせてくれたこのカリキュラムに心から感謝しています。現に、私はその後、英検準一級を取得しました。(高校2年生)

※学年は受講時のものです。



閉講式での集合写真

4 かわさきジュニアベンチャースクール



令和3年度実績 決算額：5,007,895円 事業対象者：延べ54人（小学5年生～中学生）

次世代を担う若い人たちに、失敗を恐れずに新しいことに挑戦できる能力を身につけてもらうための講座として「かわさきジュニアベンチャースクール」を開催しました。全8回の連続講座と市内企業による特別講座で構成され、連続講座では、社会や暮らしを良くするアイデアを参加者自身に提案していただき、専門家の助言を得ながら具体的な形にするとともに、特別講座では、各企業の持つ技術や最先端の研究を通じて、社会課題の解決について理解を深めました。

他の企業や大人達はどんな視点で社会の問題を見ているのかが分かりました。自分達では「これで大丈夫」と思った説明でも、他の人から見れば説明不足で分からないということもあり、事業を提案することの難しさを学びました。（中学1年生）

発表の時に、大人が自分達の発表を真剣に聞いてくれたり自分達の動画を笑ってくれたのが良かったです。人前での発表に緊張しなくなったことが役立ちました。色々な人と話した時が楽しかったです。（小学5年生）

色々なことに興味を持ち、知り、他人と協力して物事を解決する力がこれからの社会で大切な力だと思いました。事業を通してコミュニケーション力も身に付けることができたと思います。（小学6年生）

講座に参加し、これからの社会で大切な力をつけることができたと思いました。そして、仕事を立ち上げたり、考えたりする時があったら、今学んだことを生かしたいと思います。（小学5年生）

発表の時に、自分的には「ああ、自分達は全て説明した」と思っている、聞き手によって沢山の疑問が生まれてくるのだな、と感じたことが印象に残っています。最後ギリギリで作成が終わったものもあり、完全完璧とまではできなかったことが反省点です。（中学2年生）

最初アイデアがまとまらず、考えを形として作ることに苦労しましたが、同じグループの子と沢山話し合いをして乗り越えることができました。これからの社会では自分から熱意を持ってアクションを起こすことが大切で、いったん始めてみる勇気を持つことが必要だと感じました。（中学3年生）

チームメイトと意見交換し合い、あきらめずに前へ進んだことによって、大変だったけれど、最後まで頑張っやり遂げられたことが嬉しかったし、楽しかったです。そして起業家の人に助言をもらい、それを参考にしながら、起業アイデアを作っていくことが楽しかったです。（小学5年生）

もともとあったアイデアでしたが、3人で協力してより身近なものへと変えることができ、やりがいを感じました。大きな目標に向かって1歩1歩進んでいくことができ、これからも活かしていきたいです。アイデアを話し合っているときが楽しく、発想力も大事だけれども、周りの仲間と連携して目標に向かっていく力が大切だと感じました。（小学5年生）

どんな商品を作るのかなど、具体的な事業案を考える時は苦労しましたが、まず何をしなければいけないかを考え、チーム内で仕事を振り、乗り越えました。これからの社会では、何を解決しなければいけないかを考え、それをどのように解決していいのかを考える想像力が大切だと思います。（中学1年生）

※学年は受講時のものです。



発表会の様子



大人へ発表する子どもたち

COLORS,
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

2024年、川崎市は市制100周年をむかえます。

川崎市子ども・若者応援基金 寄附のご案内



寄附のお手続き

クレジットカードによる納付

市内在住の方、市外在住で「川崎市子ども・若者応援基金」に使い道を希望される方は、川崎市ホームページ「川崎市ふるさと納税」からお手続きください。
※ホームページ内の「クレジットカードによる納付（外部リンク）」よりお進みください。なお、返品をご希望の場合、詳細な使い道の指定はできません。



クレジットカード以外による納付

●個人の方

「川崎市ふるさと納税申出書」に必要事項を記入し、選択メニューの「頑張る子ども・若者を応援する互助のまちづくりの推進」にチェックをして郵送、ファックスまたはEメールで送付してください。

●企業やその他団体の方

こども未来局総務部企画課（044-200-1135）へご連絡ください。

→ 納付書がお手元に届きましたら、川崎市が指定する金融機関でお振り込みください。

指定金融機関一覧

横浜銀行、りそな銀行、みずほ銀行、三菱UFJ銀行、川崎信用金庫、三井住友銀行、神奈川銀行、静岡中央銀行、三井住友信託銀行、セレサ川崎農業協同組合、中央労働金庫、城南信用金庫、神奈川県医師信用組合、横浜幸銀信用組合、世田谷信用金庫、東日本銀行、芝信用金庫、さわやか信用金庫、きらぼし銀行、横浜信用金庫、みずほ信託銀行、ハナ信用組合、静岡銀行、群馬銀行、ゆうちょ銀行
※ ゆうちょ銀行での収納は、1都7県（東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、栃木、群馬、山梨）に所在する店舗及び郵便局に限ります。



寄附金控除について

川崎市など地方自治体に対する寄附を行った場合には、その支出した寄附金のうち2千円を超える額について、個人住民税及び所得税の寄附金控除の適用を受けることができます。後日、確定申告の際に必要なとなりますので、受領書は大切に保管してください。

※ 寄附金控除を受けるには、領収書等の寄附金の受領を証明する書類に添えて、最寄りの税務署で所得税の確定申告等の手続きをしていただく必要があります。

詳しくは川崎市ホームページをご覧ください。

川崎市子ども・若者応援基金

検索

問合せ先：川崎市こども未来局総務部企画課

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

電話：044-200-1135 メール：45kikaku@city.kawasaki.jp

令和5年1月発行